

経営比較分析表（令和6年度決算）

高知県 南国市

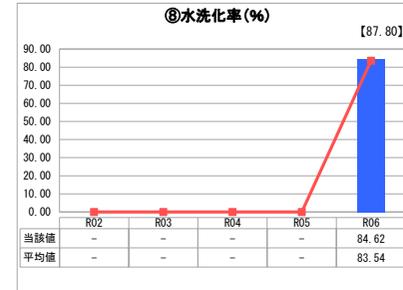
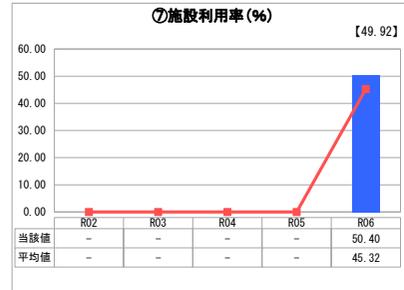
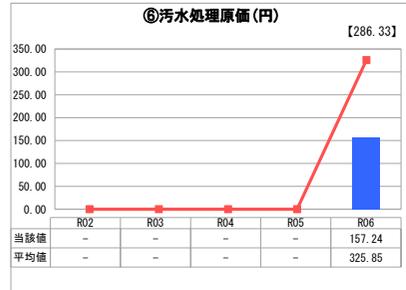
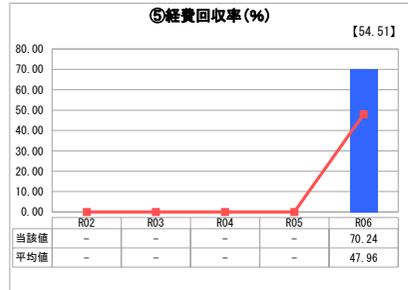
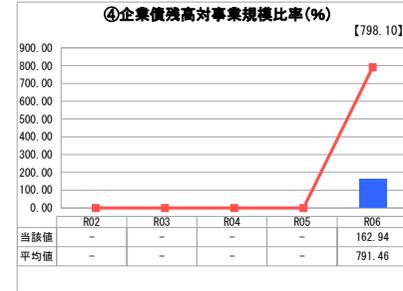
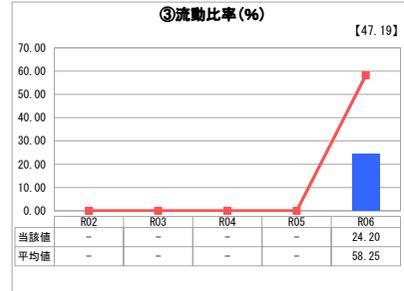
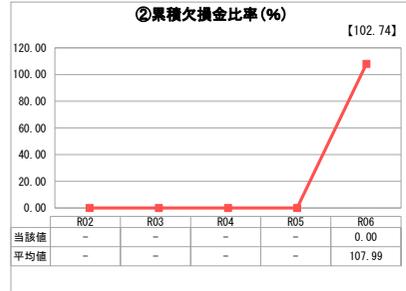
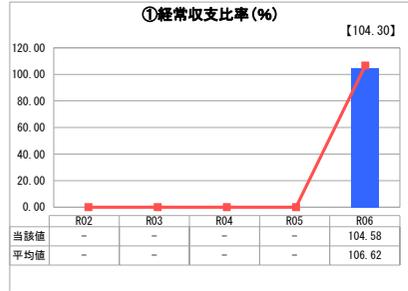
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	72.93	6.72	95.24	2,275

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,979	125.30	366.95
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,069	0.93	3,300.00

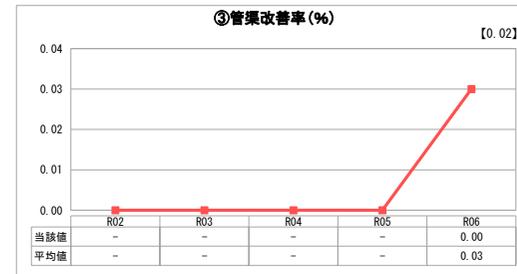
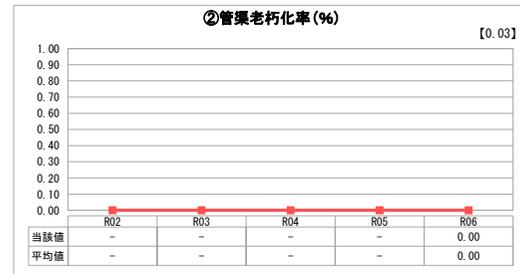
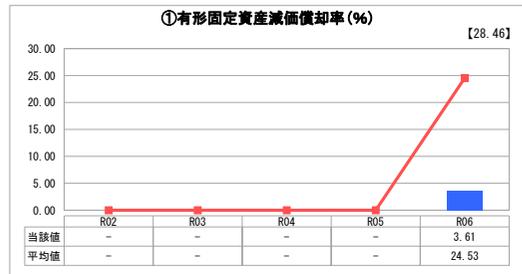
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

いずれの指標もR6年度より特別会計から企業会計へ移行したため前年数値は無しとなっています。経常収支比率は100を上回っており、経費回収率については類似団体より高い値であるものの70%台であることから、使用料収入では維持管理費等に充てる財源が確保できておらず、一般会計からの繰入金に依存している状態です。汚水処理原価は類似団体平均値より低い水準であります。維持管理費用の増加により上昇傾向が続いておりますので経費の削減に努める必要があります。施設利用率に関しては、50%と類似団体の平均値とほぼ同水準で推移しております。水洗化率は、普及率向上に向けた取り組みを続けたことで類似団体の平均値を上回っております。

2. 老朽化の状況について

供用開始から20~24年が経過したことから処理施設では経年による不具合があり、修繕等の必要な箇所が増加しつつあります。管渠については老朽化による大きな問題は見られておりませんが、不明水調査を引き続き調査をし、調査結果を踏まえた修繕工事を実施しております。

全体総括

下水道の普及活動等により接続件数は微増しているものの、少子高齢化による人口減少や節水器具の機能向上等により処理水量が減少し、大幅な料金収入の増加が見込めないなかで処理場施設の経年化が進んでおり、その更新費用を使用料で賄うことは極めて困難な見通しです。将来に向けて事業を継続していくため、長寿命化計画等のコスト削減などの取り組みを検討推進する必要があります。また職員の人材育成の一つとして、専門知識・ノウハウ不足の対策および近年の物価高騰による営業費用の増加に対する対策として、財政運営等の質の向上を図るための国の事業である「経営・財務マネジメント強化事業」等の活用を進めていく予定です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。